

事業の背景・目的

- トキの分散飼育地として10年以上の実績
- 令和3年度に国のトキ保護増殖事業計画が改定され、本州におけるトキの野生復帰(放鳥)に向けた取り組みが事業計画に位置付けられた → これを受け、本市でもトキの野生復帰実現に向けた取り組みを進めていく
- 本市中央部を流れる斐伊川水系は大型水鳥類が安定的に生息可能な潜在性を有する国内有数の一級水系、隣接する雲南市はコウノトリの営巣地 → トキが生息できるポテンシャルを秘めていると考えられる
- 一方で、トキの生息可能性について定量的な調査が行われたことはない。また、トキの野生復帰が現実的な目標として市民に幅広く共有されていない現状。トキの採餌環境を確保するための「環境にやさしい農業」も市内に十分に定着していない → 生息環境整備に向けた科学的知見に基づく調査・普及啓発が必要



事業の内容

出雲市内においてトキの生息に好適な採餌環境・営巣環境等の潜在性を評価し、トキの生息可能性の高い地域を選定するための調査を行った。また、国内希少野生動物種の野生復帰(再導入)における先進地である兵庫県豊岡市の事例について、視察調査を行った。

事業① トキ生息適地候補調査

- ・市内の航空写真、標準地域メッシュ、植生図等を調査
- ・採餌環境としての水田や河川、営巣環境としての森林の状況等から環境データを計測、数値化



→ 採餌環境・営巣環境等の潜在性を科学的に評価

事業② 生息環境整備先進事例の視察調査

- ・コウノトリの野生復帰(再導入)の成功事例を持つ兵庫県豊岡市の現状視察
- ・豊岡市や兵庫県の職員のほか、日本コウノトリの会等の民間の関係者からの説明を受けた



→ 野生復帰に必要なとなる行政的手法などを調査

得られた成果

事業① トキ生息適地候補調査

- ・出雲市内におけるトキの生息に好適な採餌環境・営巣環境等の潜在性を文献やデータ等に基づき評価し、トキの生息可能性の高い地域を5地域選定

→ 今後のトキの生息環境整備に向けた貴重な足がかりを得ることができた



事業② 生息環境整備先進事例の視察調査

- ・コウノトリの野生復帰にあたり豊岡市で実施された取り組みを、行政・民間の双方の視点から学び、湿地やコウノトリ関連施設の現状も直に観察

→ 今後のトキの野生復帰において参考となる多くの知見を得ることができた

